

こんちわ新聞

第 3271 号

2016 年
5 月 27 日

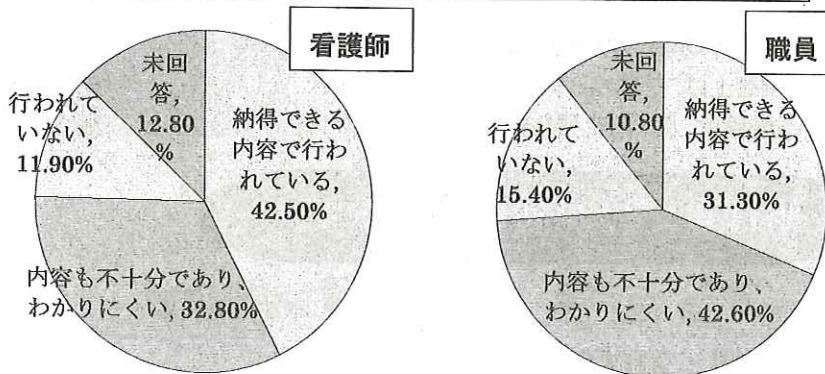
慶應労組
四谷支部

評価制度への 疑問・不満の声

2012年4月より新人事給与制度が強行導入され4年目を迎えました。この制度の下では昇格・昇給・一時金が評価に基づいて決定されますが、春闘アンケートでは評価制度に対する不満と疑問の声が多く聞かれます。この制度が職場の活性化や個人の意欲が高まるのでしょうか。春闘でも議論を継続していきます。

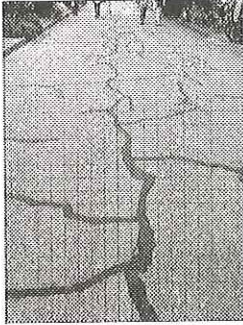
評価制度に対する意見・要望 アンケートからの声

フィードバックは評価項目に対し、それぞれの評価結果・今後の課題等を職員に伝え職員の業務への意欲を高めるために行うとされていますが、そのように行われていますか？



- ▼正しい評価が行われてなく、ひどいパワハラが行われている。何でも言う事を聞く年下の人しか評価されない!!
- ▼人が人を評価するのはとても難しいと思う。明確な基準を出していただくと共に、評価の差について説明もしてほしい。
- ▼何を見て評価されているのか全く分からない。通り一遍の説明であなたは「B」といわれた。モチベーションは上がらないし、評価そのものに疑問を感じている。不要と思う。
- ▼フィードバックされたことはない。
- ▼直属上司が高い評価をつけてくれたとしても、人事担当で評価を平均化して調整しているのではないか。
- ▼そもそも病院や教育の場にこのような不透明でチームワークを崩すような制度は適さない。早急に見直してほしい。

正面玄関前通路の溝が修復されました！



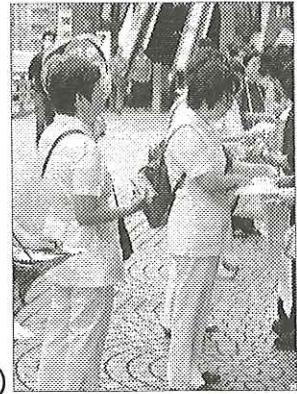
病院正門から正面玄関に向かう通路の溝が修復されました。これは、患者さんからの「通路の溝が多く、車椅子利用者や杖での歩行をしなくてはならない患者の安全面で問題があるので改善して欲しい」との声をもとに労働組合が医療改善の課題として病院当局に要求していたものです。要求提出から1年半を要しましたが、実現されて良かったと思います。

これからも、療養環境の改善を目指して取り組んでいきます。お気づきの点があれば、労働組合にお知らせください。

ナースウェーブ「看護の日」行動

5月11日に新宿で行われた、「看護の日行動」に参加しました。集会のはじめに、新宿駅西口でアピールのスピーチと看護師増やせの署名をとりました。

午後の講演は、不当な解雇と闘う、JAL 争議団で元フライトアテンダントの飯田幸子さんのお話でした。その仕事は、「いのちと安全を守る」ことや、「不規則で責任が重く」看護師と共通するものが多いと感じました。声を上げ、労働条件を良くしなければ、長く働くことはできないという言葉は、強く心に残りました。(看護師 H)



組合員だけが利用できます！

ろうきん財形

締切：2016年6月24日(金)

「教育資金」「住宅資金」「老後資金」が「人生の3大資金」と呼ばれていること、ご存知ですか？財形貯蓄なら、3つのタイプで計画的にそれらを準備することも可能です。お気軽にご相談下さい！ ※月に1度ろうきんの渉外担当者が組合事務所にお越しになります。
日程：月に1度！（月下旬の午後） 連絡先：内線 62020

2016 春闘団体交渉日程

- ・6 / 3 (金) 春闘③：医学部・病院 ★
- ・6 / 10 (金) 春闘④：大学教員
- ・6 / 16 (木) 春闘⑤：職員・財政問題 ★
- ・6 / 28 (火) 春闘⑥：全体②

三田塾監局 3階 19:00～22:00

参加可能な方は内線 62020 までお知らせください。

賃金 UP！



休暇を下さい！